

『林業・森林生態系とプラットフォーム学』

～日本独自の林業における課題解決と、森林生態系保全の両立を考える～

森林大国日本から、
世界の森林の保全にどのような貢献ができるか？

陸の豊かさの鍵である森と人が共存していくために解決すべき課題とは



情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環として毎月セミナーを開催しています。第4回となる今回は「林業・森林生態系×プラットフォーム学」がテーマ。SDGsのゴール15「陸の豊かさを守ろう」を目標に、先進国では際立って高い森林率を有する日本だからこそ発信できる生態系保全の在り方や、環境保護と表裏一体の関係にある林業分野の課題を議論することを通じて、森林大国ならではの社会課題とは何か、その解決へICT技術の利活用やプラットフォーム構築がどのように貢献できるかを考えます。

〈イベント概要〉

- 開 催：2021年10月28日(木)
- 時 間：16:45～18:45(履修生は19:15終了予定)
- 主 催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院
- 協 力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
- 事前応募制／オンラインセミナー(Zoomウェビナー形式※)

※セミナーで参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要がございます。



お申し込みはこちら
(10月28日12時締切)

登壇者

青木亮輔氏 株式会社東京チェンソーズ 代表取締役

北島薫教授 京都大学 農学研究科 森林科学専攻 熱帯林環境学分野

原田博司教授 京都大学 プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター

ほか、セミナーテーマに関連する企業担当者の登壇を予定



KUSP
Kyoto University School of Platforms

京都大学
プラットフォーム学卓越大学院